**令和７年度研究構想図**

**国語教育の今日的課題**

・全国学力・学習状況調査において，各教科等の指導のねらいを明確にした上で言語活動を適切に位置付けた学校の割合は，小学校，中学校ともに90％程度となっており，言語活動の充実を踏まえた授業改善が図られている。

しかし，依然として教材への依存度が高いとの指摘もあり，更なる授業改善が求められる。

・中学校では，伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすることや，複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすること，文章を読んで根拠の明確さや論理の展開，表現の仕方等について評価することなどに課題があることが明らかになっている。

（小学校学習指導要領解説　国語編から抜粋）

.

**児童の実態（アンケート結果から）**

学年が上がるにつれて語彙量や構文量が増加し、文章を構成することが難しくなってくる。それに比例して、考えたことを文章に置き換えて話すことにつまずきを覚え始める。このことから人と話すことに抵抗を感じ始めている。。したがって、話すテーマに重点をおき、人と話すことの楽しさを実感させながらやり取りさせていく必要がある。

**学校教育目標**

◎よく考える子

○体をきたえる子

○思いやりのある子

○最後までやりぬく子

**調査研究**

・児童の意識調査

・北区基礎基本調査

・北区教育ビジョン２０２４

研究主題

児童の主体性を育む授業の創造

～国語科を通して、言語活動を充実させるための工夫～

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目指す児童像（国語科を通して） | | |
| 低学年 | 中学年 | 高学年 |
| 自分の伝えたいことを相手に分かりやすく伝えようとし、相手の伝えたいことを落とさずに聞こうとする児童  言語活動の充実 | 目的を意識して相手に伝わるように進んで話をし、必要なことを記録したり、質問したりしながら聞くことができる児童 | 目的や意図に応じて適切な情報を収集するなどし、自信をもって自分や相手の考えが伝わるように話したり聞いたりできる児童 |

文章構成力を高めるための工夫

**研究仮説 （２年目）**

**国語科を通して語彙を増やす活動を行ったり、トークタイム・読書タイムを設定したりして各領域を大事にしながら、「話す・聞く」の活動を身近なものにさせていく。また、相手の意見を肯定的に聞くことができる環境をつくったり、どの教科でも考えを広げる活動を積極的に行わせたりすれば、自信をもって相手に話すことができ、主体性のある授業が生まれると考える。**

学習形態の工夫

**信頼の段階**

**傾聴の段階**

**伝える段階**

**相互理解の段階**

教科横断的に話す・聞くスキルを高める

国語科を通して話す・聞くスキルを高める

教材・環境づくりの工夫

研究のイメージ （言語活動において）

児童の主体性を育む授業の創造

〜国語科を通して、言語活動（話す聞く）の充実〜

校内研究のゴール

語彙の習得

児童の主体性

意欲が高まる

学習形態

文章構成力の向上

本校の課題

　　「話す・聞く」スキルの目標

児童が相手を信頼し、既成概念に囚われず、自信をもって他者と対話しながら考えを共有する姿

**◯基礎的・基本的な力が定着していない。また語彙が積み上がっていないことから言葉を文章で構成することができない。**

**◯正解だけに繋げようとする意識が強く、自分の考えや意見をもつことができない**

**◯コロナ禍により、対話する経験が少なかったことから、人前で話すことに自信がなく、結果的にコミュニケーション能力が高まっていない。**

言語活動の充実

国語科を通して、「話す」「聞く」スキルを高めていくための方法（手段）

教科横断的な「話す」「聞く」スキルの段階を踏んでいく（発表を含む）

**①信頼の段階 （令和６年度）**

相手を思いやり、肯定的に聞こうとする環境づくり

**②傾聴の段階 （令和６年度）**

・集中して話を聞く環境づくり（1対1）

　・袋スタンダード（外国語で培った対話スキル）

**③伝える段階 （今年度）**

・考える（広げる）→話す内容を考える

（キーワードから広げる）

　　　　　　　　　　　　　　　　↓

　　　　　　　　　情報収集（ウェビングマップ等）

　・まとめる（選ぶ）→話すことの精選、文章構成**【5W1H】**

・話す（喩え話、身近な話題で分かりやすく）

**④相互理解の段階**

・相手の考えを聞き、新たな考えを生み出す。

**①文章構成力を高めるための工夫**

〇トークタイムの設定

〇漢字辞典、国語辞典利用

〇語彙習得のための工夫

〇ワークシートの工夫

**②学習形態の工夫**

〇課題別学習の充実（指導の個別化と学習の個性化）

〇ペア、トリオ等の積極的なグループ学習

**③教材・環境づくりの工夫**

〇情報収集のためのアプリの活用

〇読書活動の充実

・読書タイム、読書週間の設定

・読書方法の工夫（読書カード）

**4**